

平成 30 年度山梨工業会本部報告

1. 理事長の選任について

杉田前理事長急逝に伴う後任理事長の選任に関し定款に則り平成 30 年 6 月 3 日の理事会において、泉一郎副理事長（機械 40）を理事長に、泉副理事長の後任の副理事長に奥水精一理事（発酵 48）を選出し、同日の第 15 期山梨工業会総会で承認され決定いたしました。

2. 会員状況

既存会員の状況

支部別会員数（該当支部に在住あるいは在勤の会員、会員総数 23,793 名）

支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数
北海道	119	東京	4,122	静岡県	2,739	徳島	80
茨城	420	神奈川	2,310	東海	3,198	沖縄	68
栃木	292	北陸	453	関西	1,481	九州	300
群馬	271	新潟	179	岡山	179		
埼玉	876	山梨	6,399	西中国	336		
千葉	895	長野(4支部)	1,621	香川	115		

3. 役員会等に関する事項

- 1) 第 1 回 常務理事会 平成 29 年 5 月 22 日 山梨大学工学部会議室
 - ・平成 29 年度定時総会、理事会、審議報告事項
 - ・平成 28 年度事業報告、決算報告
 - ・平成 29 年度事業計画案、予算案
 - ・役員改選について
- 2) 理事会 平成 29 年 6 月 3 日 山梨大学工学部

総会に先立って開催し、平成 28 年年度事業、決算、監査状況、平成 29 年度事業計画（案）予算（案）、役員改選に伴う役員候補案などが審議・承認された。
- 3) 第 13 回定時社員総会 出席者 135 名 山梨大学工学部

平成 29 年 6 月 3 日開催され、平成 28 年度事業報告、決算報告、役員改選、平成 29 年度事業計画、予算が決定、承認された。
- 4) 第 2 回 常務理事会 平成 29 年 8 月 10 日 ホテル談露館
 - ・報告事項 各事業報告
 - ・基金運用について野村証券、山梨中央銀行提示案を検討し不採用とした
 - ・平成 29 年度ホームカミングデーの開催について審議
 - ・校歌、逍遙歌、歌集等のデータ収集について同窓会としてデータの一元化を承認した。
- 5) 第 3 回 常務理事会 平成 29 年 12 月 1 日 ホテル談露館
 - ・報告事項 各事業報告
 - ・平成 30 年度定期総会に関する日程、特別講演などを決定
 - ・海外渡航助成金の選考規定の改訂

4. 会報発行に関する件

- 1) 第124号 平成28年9月発行(20,800部)
- 2) 第125号 平成29年3月発行(21,300部)

5. ホームカミングデーの開催

11月3日(金)に第8回山梨工業会 ホームカミングデーが山梨支部と共催で開催され、山梨大学機器分析センターの見学、そのあとの山梨大学機器分析センター長 柴田 正実教授による「機器分析センターの現状と期待される役割」題した講演を開催しました。山梨ヌーボーを楽しむ会に50余名の参加をいただき盛大な会となりました。

6. 支部に関する事項

1) 支部組織の活性化

休眠状態の諏訪支部は、平成29年6月17日に活動再開の総会を開催した。また宮城支部についても支部を設立するように本部で支援中です。その他、総会開催支部は例年だと15支部前後が今年度20支部に増加した。海外支部に関しては、国際交流センターと連携して検討中。

2) 支部総会開催状況

支部名	支部長	開催日	出席者数	本部出席者
北海道	中村駿二	H29.5.10	8	なし
東京	伊藤元規	H29.5.27	60	山寺理事長
山梨	清水直樹	H29.6.3	87	本部総会と合同
神奈川	望月則男	H29.6.24	35	小谷常務理事
徳島	久保田邦昭	H29.7.1	13	なし
北陸	古賀久敬	H29.7.1	12	岡村常務理事
諏訪	武居秀明	H29.6.17	22	小泉専務理事
岡山	青木晃二	H29.7.9	23	小泉専務理事
栃木	高橋雅行	H29.7.22	10	宮嶋常務理事
新潟	佐藤 直	H29.9.30	14	山村常務理事
関西	泉 一郎	H29.10.22	48	杉田理事長
群馬	澤田 稔	H29.11.11	20	小谷常務理事
茨城	藤森好則	H29.10.22	42	渡辺常務理事
千葉	北代孝則	H29.11.11	23	垣尾常務理事
沖縄	福地裕吉	H28.11.17	17	竹内常務理事
中信	大久保裕史	H29.11.19	6	大山常務理事
静岡	薩川和己	H30.3.3	49	田中常務理事

東北信	岡本正行	H30.2.16	13	風間常務理事
東海	森 康人	H29.11.18	46	田中常務理事
南信	河原 進	H29.11.25	28	遠山常務理事

7. 学生支援事業

1) 「山梨工業会奨学基金」の運用開始

平成26年度に「工学部設立90周年・山梨工業会創設85周年事業」として山梨大学に「山梨工業会奨学基金」を設立し、募金活動を平成26年3月1日より開始いたしました。

その結果基金は、平成29年3月末現在で43,303千円となりました。

平成27年度6名、平成28年度7名、平成29年度は平成30年1月24日に7名に奨学金30万円を支給した。

工学域、生命環境学域、両学域の1年生5名、2年生2名計7名に奨学金30万円を支給した。

2) プロジェクトYの開催

工学部と山梨工業会共催の「プロジェクトY：卒業生から在校生へのメッセージ」講演会を下記のとおり開催した。

○日 時：平成29年7月14日(金)

○場 所：工学部A2号館21教室

○講演者：鈴木正敏氏（計算機修51修了）
（株式会社ミラプロ専務取締役）

○演 題：「ミラクルプロジェクト 奇跡に挑戦」

講演会の後参加学生も交えての懇親会を開催した。

3) 山梨工業会奨励賞の授与

平成29年度（第27回）山梨工業会奨励賞の贈呈式が平成30年3月23日（卒業式当日）にコラニー文化ホール会議室で挙行されました。

工学部および生命環境学部卒業者の中から学業成績が優秀な者又は各種活動に顕著な業績をおさめた者として両学部より推薦された23名に清水副理事長より賞状及び副賞が授与されました。受賞者の内訳は工学部19名、生命環境学部4名でした。

工学部豊木学域長、生命環境黒澤学域長および天野全学同窓会長のご臨席と受賞者家族の参列を得て盛大な授与式となりました。

4) 海外渡航費用の助成

平成29年度山梨工業会海外渡航費助成金は本会の学生会員で学会などの海外渡航の費用を助成するもので、今年度は機械システム工学専攻修士6名、電気電子工学専攻修士1名、機械工学科1名、計8名に5万円/人を平成29年9月26日に授与いたしました。

8. 大学事業への支援

1) 男女共同参画推進室の事業への支援

山梨工業会会報に、“C o の花通信”として掲載して男女共同参画室の活動状況を掲載して会員

への啓蒙を図った。

2) 国際交流センターの事業へ支援

留学生会員向の山梨工業会のホームページのカスタマイズと留学生名簿整備について国際交流センターと事業委員会メンバーで検討開始し、平成28年度より留学生を登録留学生として名簿管理する業務を国際交流センターより受託し平成29年度より運用開始した。

3) 山梨大学大村智記念基金事業に関する協力

昨年に続き、工業会理事長が、全学同窓会、徽典会、医学部同窓会の各会長と共に大村智記念基金管理運営委員会の委員として参画し募金活動及び基金運営に協力した。

また、工業会メルマガ、会報等で記念基金事業に対する協力の要請を発信した。

大村記念学術館は平成30年7月完成予定。

9. その他

1) 三井住友トラストカードの加入斡旋について

斡旋紹介より2年経過し、加入者(平成30年3月末現在140名+α)も増加しつつあり、手数料収入も10万円近くになりました。当該カードでの使用金額の0.1%および加入1件に対して1,000円が手数料となります。現在使用のカードを三井住友トラストカードへの変更、加入にご協力ください。

2) 校歌、逍遙歌等の唱歌データの集約について

昨年9月より前杉田理事長が中心になって収集を始め、一部楽譜等の作成に着手しています。今後は清水副理事長がデータ等を引継ぎ収集する予定です。

昔の芙蓉寮の歌集、各科の歌集等や、クラス会等の集まりで歌唱された音源などの提供をお願いします。

3) 山梨大学への奨学金等の寄付について

現在山梨大学への寄付については次のとおり三種類があります。

①山梨大学教育支援基金

山梨大学全学域の教育研究活動の充実、修学環境整備事業、国際貢献事業及び地域社会貢献事業等広範囲の活動の支援で事業目的を指定できる。

修学支援事業として全学域対象の奨学金事業もあり。

②山梨大学大村記念基金

『大村記念学術館』の建設運営と全学域の学生への奨学事業

③山梨工業会奨学基金

山梨大学工学域および生命環境学域の学生への奨学金の支給および海外開催学会への渡航費の補助およびその他修学支援事業。

① 奨学金事業及び③は寄付の税額控除特典あり。その他は所得控除可能。